

目盛りの読み方 (読み取り顕微鏡)

① 副尺の「0」が主尺のどこにあるかみる。
例では、副尺の「0」が主尺の80.5mmと81.0mmの間にあるから、主尺から80.5mmが読み取れる。

主(①より) 80.5 mm

② 副尺と主尺の線が一致している副尺の目盛りより12が読み取れる。

副(②より) 0.12 mm

80.62 mm

例.

